



いちかわみさと

議会だより

第54号

2019年2月1日発行



六郷地区「網倉の七福神」(1月12日)

平成30年

12月定例会

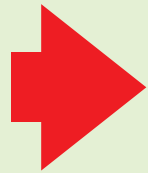
● 条例の制定・改正	2
● 平成30年度一般会計補正予算	3
● 常任委員会報告	4～5
● 組合議会報告	6～7
● 一般質問 町政を問う	8
● 一般質問 5議員	9～13
● 町道路線の認定・広報モニター委嘱式	14
● 審議結果・人事	15
● みんなのページ	16

平成 30 年度 一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は
補正額 1 億 2,017 万円
総 額 127 億 1,935 万円

収入のおもな内訳



国庫支出金 605 万円
県 支 出 金 262 万円
繰入金 (財政調整基金より) 2 億 3,688 万円
諸 収 入 △ 1 億 2,500 万円
町 債 (借入金) △ 90 万円

支出のおもな内訳

総 務 費

ふるさと納税関係事業費追加 1,498 万円
若者定住促進住宅補助金追加 282 万円

民 生 費

市川大門児童館用地取得費 (土地開発基金から) 1,818 万円
町外私立、公立施設保育所委託料追加 1,512 万円

農林水産業費

特定鳥獣捕獲実績謝礼追加 131 万円

消 防 費

耐震性貯水槽工事費追加 75 万円

災害復旧費

公共土木施設災害復旧費 804 万円
農林水産施設災害復旧費 679 万円

教 育 費

大塚町民プール擁壁改修工事費 1,616 万円
小中学校特別教室エアコン設置工事設計委託料 398 万円
山保農村広場防球ネット修繕費 243 万円
市川中学校体育館玄関・軒天修繕費 99 万円
六郷育英奨学基金積立金追加 50 万円
六郷弓道場跡地・フェンス等設置工事費 425 万円

土 木 費

竈鼻川浦線用地測量・土地購入・建物補償費追加 4,198 万円
狭あい道路工事費追加 1,450 万円
町道宮原一本松線工事費追加 400 万円
町道矢作上野線改良 J R 工事協定負担金更正 △3,834 万円
公共下水道事業特別会計繰出金更正 △1,575 万円
町道維持修繕工事費更正 △ 400 万円

※繰入金 会計の収支不足を補うために、他の会計や積立金 (基金) から充てられる資金。
※繰出金 主に一般会計から特別会計に対して、不足を補うために支出される資金。
※更 正 実績などにより経費が少額で済んだ場合、予算を減額すること。

条例の制定 1 件・条例の改正 3 件

条例の制定 1 件

ふるさと納税基金条例の制定

「ふるさと納税制度」による寄付金を、より効果的に事業の財源に充てるため、基金を設置する条例を制定。

町長・教育長の給与及び旅費条例中改正

平成 30 年人事院及び県人事委員会勧告による職員給与条例の改正に伴い、町長、教育長の期末手当について改正。

条例の改正 3 件

簡易水道事業の設置等に関する条例中改正

寺所地区の飲料水供給施設の水源が枯渇し、隣接する岩下簡易水道から給水するため、給水区域等の変更を行う。

職員給与条例中改正

平成 30 年人事院及び県人事委員会勧告による職員給与条例の改正で、主に初任給の引き上げや勤勉手当の率の変更、扶養手当の見直し等を行う。

平成 30 年第 4 回 (12 月) 定例会は、12 月 4 日から 14 日までの 11 日間にわたり開催されました。今定例会では専決処分の承認 1 件、条例の制定 1 件、条例の改正 3 件、平成 30 年度一般会計補正予算 2 件、特別会計補正予算 12 件、町道路線認定 1 件、同意 1 件、諮問 1 件の、22 議案が提出され、いずれも原案通り可決・認定・同意されました。



常任委員会 報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務厚生常任委員会

開催日
12/6

ふるさと納税制度

問 ふるさと納税基金条例制定に関して、この事業での寄付金の主な充当先は。

一瀬企画課長 主に福祉と教育に充てている。

問 返礼品の還元率は。

企画課長 総務省の通達に沿って3割以下である。配送料・事務費が1割ほどかかり、町には5割6割が寄付として入る。

問 ふるさと納税の収支は。

企画課長 平成20年度以降平成29年度までの合計で、本町への寄付は約9000万円。町民の町外への寄付は約900万円。29年度、本町への寄付は約4800万円。町外への寄付は約460万円である。

問 返礼品の品目は。

企画課長 190品目以上である。

問 返礼品の選考方法は。

企画課長 当初は担当課で検討。昨年度から町内業者の意見を聞いて進めている。

地域おこし協力隊事業

問 応募者数は。

企画課長 協力希望者は4名（組）。そのうち1名が受け入れ業者と合意した。

若者定住促進住宅補助制度

問 補助金の内容は。

企画課長 町内に住宅を取得し夫婦のどちらかが40歳以下であれば原則50万円。小学生以下の第1子に10万

円、第2子以降20万円。さらに転入時に軽自動車を町内に变更登记した場合1台2万円。祖父母と同居で10万円。最大100万円までの補助となる。

本年度31件108名の申請があり、うち18件60名が他町から転入している。

問 就職先の紹介や補助金の増額も含め町の人口増につながる方策を。

町長 本制度の導入後転入が増え、人口自然減が補われている。制度の一層の充実を検討する。

保育所費

問 光熱水費のLPガス業者選考方法は。

海沼保育課長 複数業者からの見積もり入札による。

簡易水道事業設置条例の改正

問 対象地区の給水人口は。

望月生活環境課長 岩下地区は7世帯11人、寺所地区は3世帯4人である。

安全安心対策費

問 チャイルドシートのリース料追加の要因は。

立川防災課長 旧町からの据え置き状態が続き、県内の業者が2社と少なく、安全基準の見直しで価格が2倍となった。

農業振興費

問 特産品成分分析調査委託の内容は。

丹沢農林課長 人間と同じ味覚を持ったセンサーによるうま味等の検査。この分

析機器を所有している業者を検討している。

問 分析は何を何回行うのか。

農林課長 今回は大塚にんじん、ごぼう等の根菜類で、分析回数は1回である。将来は新たなブランド事業化を検討している。

林業振興費

問 特定鳥獣捕獲実績謝礼の追加理由は。

農林課長 当初の見込みを上回る被害発生のため、猟友会と検討した中で、イノシシ100頭、シカ100頭、サル8頭を見込んだ追加である。

道路新設改良費

問 町道矢作上野線改良工事、JRR工事協定負担金の減額理由は。

塩沢土木整備課長 毎年事業を進める中で変更等もあり、全体事業費が確定したこと減額となった。

まちづくり推進費

問 笹鼻川浦線の事業の今後の見通しは。

渡辺まちづくり推進課長 全体の進捗率は86%であり、33年度の供用開始を目指している。



◎…委員長 ○…副委員長

◇所管：防災課、施設建設課、農林課、商工観光課、生活環境課、土木整備課、まちづくり推進課及び教育委員会



◇所管：企画課、総務課、財政課、政策推進課、町民課、税務課、いきいき健康課、福祉支援課、保育課、議会事務局、出納室、三珠支所及び六郷支所





組 合 議 会 報 告

三郡衛生組合

第2回定例会 11月7日

平成29年度一般会計、し尿処理事業特別会計、火葬事業特別会計歳入歳出決算認定3件で、いずれも原案どおり認定されました。

任期満了に伴う議長選挙では、本町の三神貞雄氏が選任されました。

(報告 一瀬 正)

平成29年度 決算

一般会計	
歳入	2,138万円
歳出	1,958万円
差し引き	180万円
本町の負担金	296万円
し尿処理事業特別会計	
歳入	2億3,356万円
歳出	2億1,207万円
差し引き	2,149万円
本町の負担金	3,502万円
火葬事業特別会計	
歳入	1億9,485万円
歳出	1億8,511万円
差し引き	974万円
本町の負担金	1,169万円

峡南広域行政組合

第2回定例会 10月31日

専決処分の承認1件、平成29年度決算認定3件で、いずれも原案どおり可決・認定されました。

本町からは副議長に村松武人議員、総務消防常任委員に松野清貴議員、秋山詔樹議員が、計算センター・慈生園常任委員には村松武人議員がそれぞれ選任されました。

(報告 村松武人)

平成29年度 決算

一般会計	
歳入	16億7,400万円
歳出	16億4,167万円
差し引き	3,233万円
本町の負担金	3億6,038万円
介護保険特別会計	
歳入	2億3,237万円
歳出	2億2,261万円
差し引き	976万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	
歳入	1,030万円
歳出	1,020万円
差し引き	10万円

峡南衛生組合

第2回定例会 10月24日

平成29年度一般会計決算認定、平成30年度一般会計補正予算、監査委員・公平委員の選任の6件で、いずれも原案どおり認定・可決・同意されました。

公平委員には本町の志村一成氏が選任されました。

(報告 川崎充朗)

平成29年度 決算

一般会計	
歳入	4億725万円
歳出	3億8,711万円
差し引き	2,014万円
本町の負担金	3,941万円

山梨県後期高齢者医療広域連合

第2回定例会 10月22日

専決処分の承認1件、平成29年度決算認定1件、条例制定2件、平成30年度補正予算2件で、いずれも原案どおり承認・認定・可決されました。

(報告 笠井雄二)

中巨摩地区広域事務組合

第2回定例会 9月28日

平成30年度一般会計、ごみ処理事業、老人福祉事業、勤労青年センター事業、し尿処理事業の各特別会計補正予算、平成29年度一般会計、各特別会計歳入歳出決算認定の合計12件で、いずれも原案どおり可決・認定されました。

(報告 小川好二)

峡南医療センター企業団

第2回臨時会 10月26日

監査委員の選任の同意1件で、原案どおり本町の松野清貴議員が選任されました。

また、本町からは議長に村松武人議員、議会運営委員の副委員長に有泉希議員、委員には松野清貴議員がそれぞれ選任されました。

(報告 丹澤 孝)

平成29年度 決算

一般会計	
歳入	5億527万円
歳出	4億8,417万円
差し引き	2,110万円
本町の負担金	1,158万円
後期高齢者特別会計	
歳入	1,021億3,568万円
歳出	1,011億1,646万円
差し引き	10億1,922万円
本町の負担金	2億3,629万円

平成29年度 決算

一般会計	
歳入	4,591万円
歳出	4,293万円
差し引き	298万円
本町の負担金	294万円
ごみ処理事業特別会計	
歳入	12億4,550万円
歳出	11億8,512万円
差し引き	6,038万円
本町の負担金	7,844万円
地区公園事業特別会計	
歳入	971万円
歳出	847万円
差し引き	124万円
本町の負担金	67万円
老人福祉事業特別会計	
歳入	3,864万円
歳出	3,733万円
差し引き	131万円
本町の負担金	245万円
勤労青年センター事業特別会計	
歳入	4,856万円
歳出	4,612万円
差し引き	244万円
本町の負担金	446万円
し尿処理事業特別会計	
歳入	2億5,612万円
歳出	2億4,107万円
差し引き	1,505万円
本町の負担金	本町は対象外

新設高校名は「市川高校」となるよう活動を

一瀬 正 議員

—— 県教育長への申し入れを行うなど
取り組んでいる ——

町長 女性に特化した事業はないが、町事業としての「特産品事業拡大及び雇用促進事業」に対し、女性を含む複数の活用が毎年ある。今後制度のさらなる充実に努める。

問 県が進める女性起業家養成事業を、町の施策として取り入れては。

町長 県教育長に対し、「新設高校名には、立地する『市川』の名称を含むことが望ましい」との申し入れを行った。新設高校の立地町として、関係機関に働きかけていく。

問 統合により新設される高校の名称は公募され、6月決定予定である。用地提供実績などからも、高校所在地として「市川高校」となる様要望すべきでは。

問 休耕田を活用するための町の施策は。

町長 耕作放棄地の再生を目的とした国補助金や諸制度の活用、(株)アグリ甲斐・(株)桑郷等の農業法人との連携などにより、地域ぐるみで耕作放棄地の発生防止に取り組んでいる。今後も農地の有効活用及び耕作放棄地の解消に向け、県やJAなどと連携し取り組む。

問 町が神社などを公園として利用している場合の管理策は。

町長 町で設置したトイレや遊具の修繕などは町で維持管理を行っている。管理状況について、全町的な調査を行う。

問 独居老人の状況把握と緊急時支援に関する町の取り組みは。

町長 民生委員・区長・組長などに地域と町をつなぐ橋渡し役をお願いし、福祉支援課の包括支援センターが窓口となり対応している。

問 放置されている土地への行政援助・指導を可能とする条例の制定を。

町長 現在は、荒廃した農地や山林の苦情対応は農林課で、住宅地での雑草などの繁茂やゴミ投棄などによる環境面・衛生面への対応は生活環境課で、その他住宅地での対応はまちづくり推進課で行っている。条例制定の必要性も検討する。



建設が開始された新設高校用地（左側建物は現市川高校校舎）



町政を問う

平成 30 年 第 4 回定例会 5 人の議員が質問

■ 一瀬 正 議員

- 1 遠藤浩県議の県議会報告第 23 号によれば、新設高校の「校名は本年 12 月から募集され、明年 6 月に決定する予定」とあります。本町にとって校名は重大問題ですが、校名問題はどのように進行しているのか伺います。
- 2 県は平成 28 年度から女性起業家養成事業を進めています。市川三郷町として、女性が事業を起こすのを応援する事業の創設についての方針を伺います。
- 3 田畑の耕作者の死亡や高齢化が原因で休耕田が増えています。休耕の田畑の活用策が必要ですが、町の方針を伺います。
- 4 時代が移り変わる中で、平塩の正の木神社をはじめ、神社による管理が難しくなってくると思います。町が公園として利用している場合の町としての管理策の具体化が必要と考えますが、町の見解と方針を伺います。
- 5 時代の変遷の中で、身寄りのない独居老人が増えています。これらの方たちに関わる複雑な問題も発生しています。個人情報保護は鉄則ですが困難な状況になる前に、行政としての状況把握と緊急時への対応策が必要と考えますが見解と方針を伺います。
- 6 停電の時でも利用できる、町民に緊急情報が伝えられる防災ラジオの設置が必要と考えますが、町の方針を伺います。
- 7 放置されている土地による隣接住民への被害、迷惑解消のために、行政として対応できる条例の制定が必要と考えますが町の方針を伺います。

■ 笠井雄一 議員

- 1 本町の地域活性化への取り組みは

■ 秋山豊彦 議員

- 1 六郷地区の産業振興について
- 2 町財政の現状と将来の見通しについて
- 3 入札制度について

■ 丹澤 孝 議員

- 1 町スポーツ関連事業の運営体制の検討について
- 2 「新町公園」について

■ 齋藤美佐 議員

- 1 コミュニティバスの現状と今後の方向性について
- 2 福祉タクシー券の配布年齢の引き下げを

本町の地域活性化への取り組みは

笠井 雄一 議員

—— 民間活力の活用を図る ——

問 観光資源の開発と地場産業の連携を強化し、自主財源確保に寄与する産業振興対策を明確にすべきだがどう考えるか。

問 地域力を生かす具体的方策は。

問 みたまの湯への入館者数は。

問 中部横断道・リニアの開通も見越して、地域資源を結び、観光エリア化するためにも宿泊施設を整備し滞在型集客が必要では。

企画課長 六郷インター周辺とみたまの湯周辺の活性化を、企業誘致や宿泊施設の整備も含め民間資金導入の協議をしている。

町長 歳入歳出とも、一層の見直しと無駄を省いた事業展開に傾注しながら、賑わいづくりにつながる新規事業には最小限の公費投入で最大の民間活力の活用ができるよう、民間資金の介入も促す。

町長 長所を前面に出し、地域を挙げて力を合わせ取り組む。特に六郷インター周辺には外部資金の投入も検討している。

町長 年間25万人から26万人。今後大きく伸ばすことは困難と思われる。

一瀬企画課長 * PFIやPPPなど民間資金導入の話し合いを複数の業者と4月から進めている。

* PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)民間資金を活用した公共施設整備
* PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)公共サービスを民間に委ねる枠組み



問 六郷地区の人口減少対策産業振興について、どのような方策を講じているのか。

問 町財政の現状と将来の見通しはどうか。

問 入札制度は、どのような基準になっているか。

問 一般競争入札の参加資格、基準、企業数は。

町長 六郷地区の将来を見据え、インター周辺の活性化を念頭とした重点プロジェクトとして位置づけ、大手コンサル業者やデベロッパー(開発業者)を現地に案内して、インター周辺の開発の可能性を検討しており、今後とも継続して努力していく。

町長 住民サービス向上に資する事業を遂行し、財政健全化に向けた取り組みとして、平成18年度から2期にわたる「集中改革プラン」を実践。その結果、財政健全化指標となっている**将来負担比率**も、平成19年度に149・7%であったものが、平成29年度決算では110・1%まで下げることができた。

町長 財務規則により130万円以上の請負については原則入札に付さなければならない。予定価格が概ね1億円以上は一般競争入札としている。

町長 指名競争入札と同様に、入札参加資格者名簿に登録されている業者の中からとしている。
基準については、工事の規模やその難易度に応じ、総合評価値、所在地要件を参加基準とし、工種ごとに定めている。
企業数は町の明確な基準はないが、多くの業者が入札に参加できるような配慮は行っている。

町長 六郷地区の将来を見据え、インター周辺の活性化を念頭とした重点プロジェクトとして位置づけ、大手コンサル業者やデベロッパー(開発業者)を現地に案内して、インター周辺の開発の可能性を検討しており、今後とも継続して努力していく。

町長 六郷地区の将来を見据え、インター周辺の活性化を念頭とした重点プロジェクトとして位置づけ、大手コンサル業者やデベロッパー(開発業者)を現地に案内して、インター周辺の開発の可能性を検討しており、今後とも継続して努力していく。

町長 六郷地区の将来を見据え、インター周辺の活性化を念頭とした重点プロジェクトとして位置づけ、大手コンサル業者やデベロッパー(開発業者)を現地に案内して、インター周辺の開発の可能性を検討しており、今後とも継続して努力していく。

町長 六郷地区の将来を見据え、インター周辺の活性化を念頭とした重点プロジェクトとして位置づけ、大手コンサル業者やデベロッパー(開発業者)を現地に案内して、インター周辺の開発の可能性を検討しており、今後とも継続して努力していく。

六郷インター周辺の産業振興策は

秋山豊彦 議員

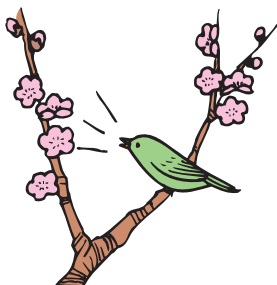
—— 重点プロジェクトとして取り組んでいる ——



* 将来負担比率
町内の財政状況をチェックするため国により定められている4つの指標のうちのひとつ。一般会計等が背負っている借金が、一般会計の標準的な年間収入の何年分であるかを示す。判断の基準(早期健全化基準)は350%で、これを上回ると改善のための計画を策定しなければならない。



花伊電線跡地(岩間)



町スポーツ事業は
スポーツクラブを核とした体制構築を

丹澤 孝 議員

—— 具体的役割分担の検討を進める ——

問 現在町の担当課で主管するスポーツ事業を、NPO法人市川スポーツクラブに業務委託することが望ましいと考えるが。

問 ニードスポーツセンターの管理方法は。

問 新体育館の管理方法をどのように考えているか。

問 都市公園条例で「新町公園」と定められている場所に「神明公園」と書かれたモニュメントがあるが、混乱するので統一した方が良いのでは。

問 公園南端には、町施設として公衆トイレが設置されており、その隣接する場所に新高校の正面玄関を設ける計画となっている。

町長 NPO法人市川三郷スポーツクラブの役割は重要であり受け皿となる組織である。現在も一部事業の委託をおこなっているが、今後もさらなる可能性を探る中で、行政の効率化やNPO法人市川三郷スポーツクラブの支援にも繋げていきたい。

渡邊いきいき健康課長 受付や清掃、スポーツトレーナーの配置の業務、運動機器の保守、イベントキャンペーン等業務委託している。

予算管理、委託事業者の監督や評価、建物の修繕は町で行っている。

森川生涯学習課長 委託することが可能な業務か等も含めて、管理体制の検討を現在行っている。

町長 愛称を募集した結果、平成11年に「神明公園」と選考された。名称の統一については、都市計画審議会で協議検討したい。

町長 トイレ利用者の利便性や新設高校の景観への影響等について、状況を確認しながら検討したい。



夏休み子どもフェスティバル

福祉タクシー券の配布年齢の引き下げを

齋藤美佐 議員

—— 可能条件等調査し検討していく ——

問 福祉タクシー券の配布年齢を88歳以上とした理由は。

問 配布年齢の引き下げ、配布枚数の増加の考えは。

町長 旧市川大門町で実施された事業を踏襲しており、米寿のお祝いと併せて配布している。

町長 88歳未満の方も、ご本人が虚弱で外出のための援助者がいない方は民生委員の証明、交付申請によりタクシー券の発行がされている。予算の関係もあるの

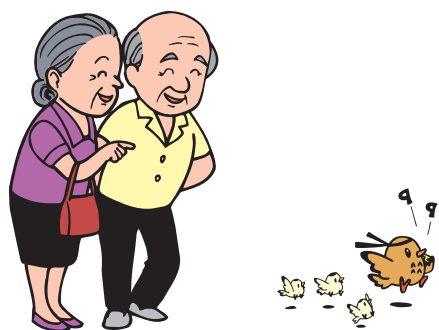
町長 コミュニティバスは、交通空白地域の解消と公共交通機関へのアクセスを容易にするために運行し、JＲ身延線の利用を補充するもの。地元のタクシー業者の営業を脅かすような運営はできない。民間のNPO法人にも、外出支援サービスを展開していただけであり、より利用者の利便性を高めるため、PRや支援をしていく。

問 現在のコミュニティバスの利用状況は。

立川防災課長 町内で4路線が運行。山保線は一日平均11・1人、六郷線（鰍沢口駅～つむぎの湯）22・92人、六郷循環線22・42人、三珠線は3・78人の利用がある。

問 コミュニティバスが運行されていない地域は町内にまだあるが、運行により多くの費用が必要となるため、ミニバン、乗り合いタクシーを導入してはどうか。

一瀬企画課長 新たな手立てを考える段階に来ていると思う。タクシー業者など、いろいろな方と協議しながら進めていきたい。



審議結果 第4回定例会（12月4日～14日）

●承認（1件）： 平成30年度 一般会計補正予算（第11号）	結 果 承認・全会一致
●条例の制定（1件） ふるさと納税基金条例	結 果 可決・全会一致
●条例の改正（3件） 簡易水道事業の設置等に関する条例中改正 町長、教育長の給与及び旅費条例中改正 職員給与条例中改正	結 果 可決・全会一致 可決・全会一致 可決・全会一致
●補正予算（14件）： 平成30年度 一般会計補正予算（第12号）（第13号） 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）（第4号） 介護保険特別会計補正予算（第4号）（第5号） 訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算（第2号）（第3号） 簡易水道特別会計補正予算（第3号）（第4号） 公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）（第4号） 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）（第3号）	結 果 可決・全会一致 可決・全会一致 可決・全会一致 可決・全会一致 可決・全会一致 可決・全会一致 可決・全会一致 可決・全会一致
●同意（1件） 教育委員会委員の任命につき同意を求める	結 果 同意・全会一致
●諮問（1件） 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	結 果 適任・全会一致
●その他議案（1件） 町道路線の認定	結 果 可決・全会一致

※寄付採納
民間業者が、町道認定の基準に則り排水路、上下水道管、舗装を敷設する。幅員4.0m以上、延長により回転広場を設けるなど種々規制があり、議会が承認し町道となる。



三珠地区上野本村

宅地分譲に伴い、公衆用道路として町に※寄付採納の申し出があった本村支線8号線で、教育土木常任委員会の現地視察のうえ、決議された。

●町道路線の認定

議会広報モニター委嘱式（任期）平成30年12月から2年間

12月14日、いちかわみさと議会広報モニター委嘱式が開催され、12名のモニターが選任されました。

議長より、委嘱状が一人ひとりに手渡され、その後、議会広報についての意見交換が行われました。

各モニター様より、ご意見やご指摘をいただき、議会と町民の皆さんがより近くなり、町民の皆様に見やすく、より親しまれる議会だよりとなりますよう編集委員一同心がけてまいります。

議会広報モニターのみなさま

三珠地区

一瀬 隆氏（上野）
関部 君男氏（上野）
長田 祐子氏（大塚）

市川大門地区

村松 実氏（市川大門）
村上 有紀氏（市川大門）
若尾かな江氏（市川大門）
大木 和人氏（市川大門）
広瀬宇田子氏（黒沢）
小池 一史氏（黒沢）

六郷地区

笠井みゆき氏（楠甫）
芦澤悠紀枝氏（落居）
笠井 尚美氏（岩間）



議会傍聴におでかけください

次回定例会は平成31年3月に予定されています。

傍聴の定員 本会議 30人 委員会 8人

◆12月定例会の傍聴実績（のべ人数）

本会議 62人 委員会 3人

※町のホームページから議会本会議の会議録が閲覧出来ます。

検索機能もあり便利です。是非ご利用下さい。

◆会議録検索システム利用件数

平成30年1月から12月まで 4,930件

◆お問い合わせ 議会事務局 ☎055-272-1108

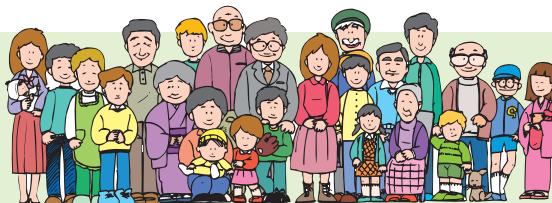
○人権擁護委員
望月 良美氏（三帳）

○教育委員会委員
笠井 庸子氏（岩間）

人 事



みんなのページ



平成 14 年から始まった生きいきサロン。皆さんで歌を歌ったり体操をしたり、季節に合わせた作品作りをします。お茶のみタイムが何よりの楽しみです。顔を見ると、「わっはっは!!」と笑いヨガも好評でした。また、さまざまな情報交換が認知症予防につながり、心のケアができます。

どなた様もお気軽にご参加ください。

日 時：第 2 月曜日
4 月～9 月
午前 10 時～
10 月～3 月
午後 1 時 30 分～
場 所：八乙女公民館
参加費：100 円
代表者：遠 藤 菊 枝



生きいきサロンむつみ会

八幡生きいきサロン

平成 14 年から楽しく開催しています。毎回、時代の流れで大きなニュースを取り上げるようにしています。また、頭を使って簡単な脳トレをしたり、絵を描いたり、大きな声を出して身体を動かしたり、体操や踊りをします。ご飯の時間が何よりの楽しみ！
お友だちとお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。



日 時：第 3 水曜日
午前 10 時～正午
場 所：
ふれあい生きいきサロン
(八幡公民館)
参加費：100 円
代表者：松 下 聖

編集後記

平成最後のお正月は穏やかに
過ごされましたでしょうか。

人口減少の克服へのとりくみ
を特集した町の広報12月号を、
「輝く笑顔いちかわみさと
フォーラム」で講師の埼玉大石
阪督規教授にご覧頂いたところ、
講演のなかでも取り上げて
褒めてくださいました。自己肯定
感を持ち、プラス思考があつてこそ
町は発展し、人は元気になると。

たとえ課題は多くとも一つひとつ
前向きに、ポジティブな発
想で取り組んで参りたいもので
す。

(笠井 記)

議会広報編集特別委員会

委員長 小 川 好 一
副委員長 丹 澤 孝
委員 秋 山 豊彦
委 員 齋 藤 美佐
川 笠 井 充 朗